

學會消息

昭和二十六年年度東京女子大學學會各部會に於ける活動狀況は次の通りであつた。

哲學部會

- 「カント哲學の基本的な諸問題」 五月二十三日 村田豐文教授
- 「アメリカの哲學について」 六月一日 立教大學教授 菅圓吉氏
- 「ニイチエの超人の概念について」 六月十五日 哲四 大間知慶子氏
- 「神秘家としての十字架の聖ヨハネ」 六月二十九日 哲四 相場なほ子氏
- 「幼きイエズスの小さな花」 九月二十八日 哲四 赤見千榮子氏
- 「リッケルトのカント觀」 十一月三十日 酒井曠吉教授
- 「現代社會心理學」 (哲學・社會科學共同部會) 十二月十三日 慶應大學文學部社會心理學研究室助手 佐野勝男氏
- 「市場調査について」 (哲學・社會科學共同部會) 十二月十四日 日本電報通信社

朝倉利景氏

「Platon に於ける *Logos* の本質とその解釋の問題」 (昭和二十七年) 一月十八日

哲三 石原誠子氏

(心理學研究會)

- 「レヴィンを中心とした學習理論の展開」 五月十一日 哲三 秋谷たつ子氏
- 「幼兒の言語」 六月十五日 哲三 上村玲子氏
- 「反覆試行によるミューラー・リエル錯視の崩壊」 六月二十九日 哲三 鐘ヶ江潮子氏
- 「就學前兒童の社會的行動の發達」 九月十四日 哲三 小林晴江氏
- 「トールマンに於ける反應學習と場所學習」 十月十五日 哲三 小口みち子氏
- 「三次元に於ける圖形殘効」 十一月二日 哲三 長島清江氏
- 「心理學に於ける數學の位置」 十一月十五日 日 慶應大學文學部講師 印東太郎氏
- 「純粹知覺と社會的知覺」 十一月十六日 前田嘉明助教授
- 「チンパンジーの描畫機構」 十一月二十一日 日 哲三 谷口眞弓氏

「幾何學的圖形の見え方について」 十二月

七日 哲三 若田純子氏

「視覺に於ける融合現象」 (昭和二十七年)

一月十八日 森敏吉囑託

「視空間に於ける二點辨別」 二月八日 哲

三 山田芳子氏

「再生の抑制要因について」 四月五日—七日

(日本心理學會第十五回大會、於關西學院大學)

前田嘉明助教授

「動物の時間知覺に關する實驗的研究(1)」

(日本心理學會第十五回大會、於關西學院大學)

森敏吉囑託

「中斷效果に關する一考察(第二報)」

(日本心理學會第十五回大會、於關西學院大學)

東安子助手

「ルターに於ける教會概念の成立」 十月三

十一日 (宗教改革紀念講演會) 石原謙

教授

「宗教改革の根本精神」 十一月 日 (於

青山學院大學) 石原謙教授

社會科學部會

「日本近代化の一側面」 六月六日 柳父德

太郎教授

「成吉思汗家の家譜について」 六月二十日

村上正二講師

「女性の勞働」 十一月二十三日 瀬川清子

氏

「プロテスタンティズムと近代社會」 十

一月二十三日 金子榮一講師

「講和と國際經濟の課題」 七月二十三日

(於諏訪夏期大學)

「國際投資と開發計畫」

七月二十五日 (於中部電力會社)

「第四福音書の基調」 七月二十六日 (東洋

紡績會社 聖書研究會)

「講和條約の問題點」 八月二十二日 (北輕

井澤友會)

「内村鑑三における近代的と封建的」 九月

一日 (日本プロテスタント史研究會)

「東南ア開發計畫について」——ECAFE

報告書による—— 十一月十日 (參議院

世界問題研究會)

「日本近代化と内村鑑三」 十一月十二日

(基督教文化學會)

「日本經濟社會の地位」 (昭和二十七年)

一月二十二日 (於開成高等學校)

以上柳父德太郎教授

日本文學部會

「萬葉集に於ける心の表現」 十一月八日

東北大學助教授 北住敏夫氏

「能樂の面について」 十二月六日 古川久

講師

「文學史の可能性について」 五月二十日

(九州大學國文學會總會) 笹淵友一教授

「萬葉集の女流作家」 七月五日 (於青山

學院女子短期大學) 藤森朋夫教授

「萬葉研究の新動向について」 七月十一日

(萬葉三水會研究發表會) 藤森朋夫教授

「幸田露伴とキリスト教」 八月四日 (プ

ロテスタント史研究會) 笹淵友一教授

「露伴の戀愛」 十一月十一日 (東北大學日

本文藝學研究發表會) 丸山キヨ子講師

「山手言葉と下町言葉」 十一月十八日 (國

學院大學國語研究會秋季大會) 松村明助

教授

「文學史の方法」 (昭和二十七年) 一月十

四日 (九州大學國文學科座談會) 笹淵

友一教授

「近代文學とキリスト教」 一月十七日 (活

水女子短期大學講演會) 笹淵友一教授

自然科學部會

科學史研究會

「エネルギー恒存則の成立」 五月五日 渡

邊正雄助教授

「物理學概念に於ける一私見」 十二月二十

七日 渡邊正雄助教授

「微積分の成立(その一)」 十二月二十七日

新井惠美子氏

「數學と物理學」 (昭和二十七年) 一月二

十六日 松井伸子助手

數學研究會

「現代幾何學の展望」 六月五日 桂田芳枝

氏

「General Topological Space の構成の仕

方」, 「Topological Space」, 「連續寫像」,

「分離の公理」, 「Compact, Bicompat」,

七月十日—二十四日 魚返正講師

「ガリレイとミルトン」 四月二十四日 日

本基督者學會) 渡邊正雄助教授

「二、三荳科植物に於ける葉枕のタンニン細胞について」 九月二十二日—二十四日

(日本植物學會、於山形大學農學部) 多

羅尾四郎教授、鳥山英雄助手

「ゴルヂー氏體の生體染色」 十月十二日—十四日 (日本動物學會、於廣島文理科學部) 多羅尾四郎教授

體育學部會

「家庭に於けるレクリエーション」 十月十七日 (女子體育指導者講習會、於箱根仙石原) 内海千江教授

「體育と健康教育」 十月十九日及び十一月十九日 (教育指導者講習會、於東京大學) 内海千江教授

討論 (大學體育研究集會) 十一月二十六日—二十八日 出席者 内海千江教授、

三井田フミ助教授

「大學に於ける體育」 十二月九日 (大學體育指導者講習會、於東京教育大學) 内海

千江教授

「フォークダンス」 十二月二十八日 (眞體

育講習會、於三橋研究所) 内海千江教授

なほ二十六年度前期及び後期始業講演は左の如くであつた。

「アリストテレスのプロトウレプティコ

ス」 四月十七日 酒井瞭吉教授

「ロシアの獨裁政治について」 十月二十二日 岩間徹助教授

二十六年度本學會委員及び論集編集委員は次の諸氏であつた。(順序不同)

學會委員

平野四(化學・委員長)、多羅尾(生物)、渡邊(物理)、平野雪(數學)、小島(哲學)、村田(哲學)、前田(心理)、松村明(日本文學)、藤森(日本文學)、天達(英文)、加納(英文)、柳父(社會科學)、岩間(社會科學)、内海(體育)。

編集委員

平野四、加納(編集顧問)、松村明、藤森、天達、柳父、鳥山、森。
編集事務擔當は鳥山、森であつた。

(森 記)

「東京女子大學論集」第二卷第三號

昭和二十七年三月二十日 印刷
昭和二十七年三月廿五日 發行

編輯兼
發行者

東京女子大學學會
東京都杉並區井荻三丁目
東京女子大學内

代表者

齋 藤 勇

印刷者

小酒井益三郎

印刷所

研究社印刷株式會社

發行所

東京女子大學學會

東京女子大學内

電話 荻窪(三九)二二五五番
振替口座東京七二〇五三番